



## DATA

■お問い合わせ先  
JAかつの  
産直センター「おらほの市場」  
TEL.0186-35-4001  
http://www.ja-kazuno.or.jp

「おらほの市場」  
センター長おススメ!

### JAかつのオリジナル商品!



●北限の桃ソフトクリーム(果肉入り)  
350円  
1日最高200個ほど  
売れる人気商品

●桃の雫(スパークリングワイン)  
275ml:470円  
今年の8/17に発売  
を開始した新商品



●かつの淡雪こまち  
5kg:2700円  
10kg:5400円  
モチモチふっくらが  
絶妙のあきたこまち



## JAかつの 産直センター おらほの市場



昨年「鹿角市に産直センターがオープンした」というニュースを見ました。どんなお店なのか詳しく教えてください。



ナビゲーター  
営農経済部  
産直センター おらほの市場  
センター長 田中 豊さん

産直センター「おらほの市場」が  
できた経緯は?

春の繁忙期以外はお客さんが少ないJAの資材センターを「何かに利用できないか」と長年考えていました。住民や生産者より以前から「JAで直売所を作ってほしい」という要望もあったことから、約2年間の構想期間を経て完成したのが産直センター「おらほの市場」です。1つの建物に「産直コーナー」と「資材コーナー」を併設しているのは秋田県内のJAでは初で、全国でも珍しい施設です。今年の8月で1周年を迎えました。年間売り上げは約65千万円、来場者は約7万人と、多くの方にご利用いただいています。

1周年を迎えて  
イベントを開催したと伺いました。

8月24、25日の2日間、お客様への目こころの感謝を込めて「1周年記念セール」を開催しました。各日先着300名様へ花の苗をプレゼントするなど、おもてなしイベントをしたところ来場者からは「もう1年経ったの?早いね」「日用品は近くのスーパーで買うけど、野菜だけは必ずここに買いに来てるよ!」など、嬉しいお言葉をたくさんいただきました。

私自身、こちらから店頭へ立つことが多く、言葉をかけてもらうことは本当に嬉しくて励みになります。中にはほぼ毎日来てくださる方もいらっしゃいます。

生産者の活動も活発のようですね?

「おらほの市場友の会」に会員登録をすれば、店頭へ品物を出すのは会員の自由です。店舗の運営は職員やパートの7名で行っていますが、苗がよく売れる時期やお盆の繁忙期には会員が交代で店頭へ立ち、お客さんに商品の説明をするなど手伝ってくれることもあります。もともと十和田地区では女性部が直売を行っており、部員だった女性たちは対面販売には非常に慣れており、お客さんも生産者が直接売ってくれる安心感があり好評でした。

75名でスタートした会員は、現在95名に増えています。

これからのビジョンを教えてください!

通常は産直センターと言っても、半数以上が仕入れ品というところがほとんどです。しかしここは極力地産産産のものでまかないたいというこだわりを強くもち、仕入れは2割ほどにとどめています。そのスタンスは今後も維持していきたいと思っています。

ただ、どうしても限られたスペースでの販売となると売り上げは年間75~8千万円が限界です。しかし商売をする以上、売り上げを伸ばしていくというのを考えていかなければなりません。時間がかかるかもしれませんが外販事業も視野に入れ、多くの方に広められるような構想を練っていきたいと考えています。

●これからの展開も気になります!ますます評判になりそうですよね!



2



3



4



6



5



7

1 産直センター「おらほの市場」。産直コーナーと資材コーナーが隣接しているので、買い物客からは便利だと好評。2 9月には鹿角市の名産品「かつの北限の桃」が店頭へ並んだ。県南から買いに来る方もいるほどの人気(今年の販売はすでに終了)。3 産直センター「おらほの市場」の店内。季節ごとにレイアウトを変え、最適な商品の見せ方を工夫している。店内には野菜や果物、加工品など全部で800アイテムの商品が並ぶ。4 パートの加賀郁美さん。店内のレイアウトやPOPづくりは全て彼女が考案。「より商品が見やすい工夫をしてくれていて、頼りになる」とセンター長からも大鼓判。5 資材コーナーと産直コーナーは壁1枚で分かれている。昨年の資材コーナーの売り上げは産直コーナーとほぼ同額。6 オープン当日の店内の様子。大勢の人で賑わった。7 「おらほの市場友の会」の設立総会。現在会員は95名。



1